



八雲町社協だより

ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくりを目指して

赤い羽根共同募金贈呈式



「赤い羽根共同募金運動」が10月1日から12月31日までの3ヶ月間にわたり、全国一斉に実施されています。

八雲シンフォニーでは、運動期間中に社会貢献活動としてパンの売り上げの一部を八雲町共同募金会へ寄付していただき、去る1月19日に「パン工房げんき」にて贈呈式を行いました。ありがとうございました。



平成30年度 八雲町社会福祉協議会事業計画

基本方針

近年、私たちの地域社会を取り巻く環境は、少子高齢化、核家族化、近所づきあいの希薄など大きく変化しております。また、児童や高齢者の虐待、高齢者世帯の増加など地域における福祉課題も多様化しています。八雲町社会福祉協議会は、「ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり」を基本理念に掲げ、地域住民・行政・町内会・福祉施設・福祉団体・ボランティア等との密接な連携と協働のもと地域福祉向上に取り組んでまいりました。

しかし、住民生活の多様化さらには人口減少を背景に、様々な生活課題が引き続き顕在化しており、また、社会保障制度改革により各分野における諸改革が進み、地域住民を取り巻く環境は変化をしてくれております。

こうした中、誰もがいきいきと安全に安心して暮らし続けることができる地域社会を実現していくためには、地域住民相互の繋がりの高めあいとともに生活課題を受け止めていく体制づくりと地域福祉活動が一層求められています。また、社会福祉法の改正により社協は高い公益性が求められる社会福祉法人として、地域福祉を推進する「協議体」として公益的な取り組みを推進することが期待されています。

そのため、目的を共有するすべての個人・団体と協力・協働しながら、平成30年6月に策定する「新3期地域福祉実践計画」の着実な実践と、次に掲げる10項目の重点推進事業の展開に役職員一丸となって取り組んでまいります。

町からの受託事業を含め、社協が中心となっている在宅福祉サービス事業の実施に当たっては、事業効果が最大限発揮できるよう引き続き遂行に努めます。

八雲町社協は、デイサービス・居宅介護支援・訪問介護（熊石地域）の三事業の介護保険事業を開設していますが、近年は利用者の伸び悩みや、3年前の平成27年度は大幅な介護報酬の改定により厳しい経営環境となり、今年度、平成30年度から3年間は、介護報酬全体の改定率0.54%が引き上げられ、リハビリによる高齢者の自立支援や重度化防止に対する配分を手厚くすることなどサービスの質向上が期待される場所です。通所介護（デイサービス）では、利用者の状態が改善されるなど成果を出すなど加算され、また訪問介護では、入浴や移動の手助けといった身体介護には報酬を引き上げ、家事などの生活援助は引き下げるなどといった介護報酬改定のポイントであります。今後においても介護報酬への改善の兆しが推し量れないことからサービス提供体制の改善が必要となってきます。

社協が介護サービス事業を実施していることにより、介護やケアマネジメントの専門性が蓄積され、個別の相談に対し総合的かつ即応的に対応することができそうです。

そのため、こうした役割を確実に果たすためにも、各事業所の事業計画を基本に、引き続き信頼され親しまれる事業所として、利用者確保の一層の強化を社協らしい事業展開を図りながら、継続的な事業経営に努めてまいります。

重点推進事項

(1) 地域福祉実践計画の推進

5年計画（平成30年度～平成34年度）の新3期地域福祉実践計画については、地域福祉実践計画推進委員会において、必要に応じ事業の進行管理や評価・見直しを行ってまいります。また、関係団体等との協議や相互協力を図り、新規事業をはじめとする計画事業の着実な実施に取り組んでまいります。

(2) 地域福祉活動の推進

地域福祉活動は「みんなで支え合う」を理念とし、社協活動との協働を促進するため地域住民やあらゆる団体・組織と連携した住民福祉活動を推進し様々な課題解決のための取り組みを行ってまいります。

隔年実施の社会福祉大会は本年度で7回目となります。福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の意義や役割、また推進方法等について関係者と共有すべく、内容の充実に努めてまいります。

ふれあい広場の開催や乳酸菌飲料配布などの高齢者見守り事業の実施、更には町内会等の自主的な福祉活動への支援協力についても引き続き取り組むとともに、新たに地域特性に応じた「地域包括システムの構築に向けた新たな地域支援事業」への対応について研究・検討してまいります。

(3) ボランティアセンターの運営とボランティア団体との連携

地域福祉を推進するためには、ボランティアの協力は不可欠であります。

そのため、ボランティアスクールや青少年福祉活動体験事業の開催、ボランティア愛ランド北海道への参加を通じ、ボランティア活動の推進と育成を目指してまいります。また、各ボランティア団体の活動紹介や支援体制に引き続き取り組んでまいります。

ボランティアセンター（愛情銀行）事業は、主に町の補助金と町民の寄附金を基にボランティア団体への運営助成やボランティア育成事業を実施しています。このうち寄附金は減少傾向が続いていることから、より善意が広がる工夫によって事業の見直しを図ってまいります。

(4) 生活困窮者自立支援活動の実施

経済困窮者や社会的孤立の状況にある生活困窮者に
対し、「自立支援相談センターおしま」と連携し自立
支援相談を行ってまいります。

また、低所得者や経済的な生活課題を抱える世帯に
対し、生活一時金（社協単独事業）、生活福祉資金（北
海道社協事業）の貸付と相談支援を行い、経済的自立
及び生活意欲の助長促進を図ってまいります。

(5) 在宅福祉活動の推進

町からの受託事業を中心に実施している、給食（八
雲）、移送（八雲・熊石）、高齢者訪問（熊石）サービ
スなどの在宅福祉サービス事業については、利用者が
より良い生活が送られるよう、サービスの質の向上に
努めてまいります。町民の善意により寄贈された車椅
子やベットの有効活用を行っている福祉用具無料貸付
事業について引き続き実施してまいります。

(6) 相談・自立支援事業

心配事相談の多くは経済的要因が大部分であり、行
政や関係者と連携を図りながら相談援助活動に努めて
まいります。また、各種事業や活動を通じ住民の悩み
に速やかに相談にのり適切な助言・支援等を合わせて
行ってまいります。

北海道社協からの受託事業であります、判断能力が
十分でない方の金銭管理等を支援する日常生活自立支
援事業は、利用要望に対応しうる体制を整え、生活支
援員の確保等実施体制の万全を期してまいります。

(7) 介護保険事業所の健全運営

介護保険事業（通所、居宅、訪問）は、利用者満足
度アンケートにおいて高い評価を受けており、今後
においても利用者の声を受け止め親しまれる介護サービ
スの提供に努めてまいります。

しかし、介護報酬の減額改定や利用者の減少傾向か
ら収支の均衡を図ることが困難な状況となっております。
この間、運営方法の見直しを図り改善に努めてき
ましたが、一定の成果はあるものの、初期の目標には
至っておりません。

今後の介護報酬の動向は不透明であり、より一層慎
重な事業運営の在り方が求められることから、各事業
所の収支の均衡を基本に、介護保険事業総体として運
営方法について検討してまいります。

(8) 財源の確保と財政の確立

八雲町社協は、町からの運営補助金、在宅福祉サー
ビス等の委託金、介護保険事業にともなう介護報酬、
町民等からの愛情銀行への寄附金、更には住民の理解
と協力を得た自主財源であります個人会費・賛助会費・
特別会費及び共同募金助成金など多様な公的財源によ
り運営されております。

会費などの自主財源は、人口減少や長引く経済不況
により厳しい状況にありますが、役員一丸となって
財源確保に努めてまいります。

① 会費納入について

自主財源の中で大きな割合を占める会費については、
引き続き住民や町内会等の理解を得ながら個人会費の
納入と賛助会費・特別会費の加入促進に努めてまい
ります。

② 共同募金への協力

住民の善意と助け合いの精神により、地域福祉推進
の取り組みの財源を支える赤い羽根共同募金は、社協
が行っている各種団体助成金の原資であり重要な財源
であります。

そのため、八雲町共同募金委員会が実施する募金活
動に対し積極的に参加し支援協力してまいります。

③ 基金・積立金について

社協には、資本金となる基本財産のほか、福祉基金、
財政調整基金、人件費積立金、備品等購入積立金及び
退職手当引当金があり、その管理には八雲町社協資金
管理運営方針等に基づき万全を期してまいります。

また、資金状況に応じ積立と基金設置目的に沿い有
効活用を図ってまいります。

(9) 社協組織運営の充実**① 啓発・広報活動**

「社協だより」、「支所だより」を年4回発行し、各
種事業や活動の周知を図り社協活動の啓発に努めてま
いります。

また、ホームページを活用した広報活動も行ってま
いります。

② 組織運営の充実

評議員会、理事会の開催を通して、法人運営や事業
推進の方向性を決定するとともに、監査の実施により
法人運営の適正化を図ってまいります。

また、必要に応じ各委員会及び正副会長会議を開催
し個別対応を図ります。更には研修会への参加や関係
団体との交流等を通じ情報収集に努め、地域福祉を推
進する団体との役割・機能を発揮し、地域に理解と信
頼を得られる社協づくりに努めてまいります。

職員研修会を年2回開催するなど、職員の資質向上
と専門性の確保に努めてまいります。

③ 地域間交流の促進

平成26年度より開催している渡島噴火湾社会福祉協
議会（鹿部町・森町・八雲町・長万部町）連絡協議会
に積極的に参加し、近隣社協との連携・交流を一層推
進してまいります。

また、八雲・熊石両地域の交流についても、引き続
き各種行事・事業等の相互参加等を図りながら、交流
促進を推進してまいります。

(10) 町からの受託事業の実施

町からの受託事業は次のとおりとなっております。遺漏
のないよう努めてまいります。

- ① 八雲町総合保健福祉施設シルバープラザ管理業務
- ② 寝たきり高齢者等移送サービス事業（八雲・熊石地
域）
- ③ 高齢者等給食サービス支援事業（八雲地域）
- ④ 緊急通報体制整備事業（八雲・熊石地域）
- ⑤ 生きがいデイサービス運営事業（八雲地域）
- ⑥ 要介護認定訪問調査事業（八雲地域）
- ⑦ 介護予防サービス計画及び介護予防ケアマネジメン
ト作成業務（八雲地域）
- ⑧ 独り暮らし高齢者訪問事業（熊石地域）



平成30年度八雲町社会福祉協議会収支予算

〔本所拠点区分〕

(単位：千円)

○法人本部運営事業	49,437	○通所介護事業	30,430
○共同募金助成金事業（本所）	1,670	○居宅介護支援事業	15,795
○在宅福祉事業（本所移送・給食）	6,379	○ボランティアセンター（愛情銀行）事業	1,190
○緊急通報システム事業	2,256	○生活一時金貸付事業	1,500
○ふれあい広場事業	1,369	○生活福祉資金貸付事業	172

(収入)

(支出)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
会 費 収 入	3,637	人 件 費	84,084
町 補 助 金 収 入	32,498	事 業 費	11,598
町 受 託 金 収 入	23,442	事 務 費	8,094
道 社 協 受 託 金 収 入	322	助 成 金 支 出	555
共 同 募 金 助 成 金 収 入	1,670	共 同 募 金 助 成 金	1,670
介 護 保 険 収 入	43,725	貸 付 事 業 支 出	1,500
寄 附 金 収 入	690	施 設 整 備 支 出	588
受 取 利 息 配 当 金 収 入	9	積 立 資 産 支 出	1,132
雑 収 入	29	サ-ビス区分間繰入金支出	664
償 還 金 収 入	1,500	予 備 費	313
積 立 預 金 取 崩 収 入	800		
拠 点 区 分 間 繰 入 金 収 入	200		
サ-ビス区分間繰入金収入	1,144		
前 期 末 支 払 資 金 残 高	532		
本所拠点区分収入予算合計	110,198	本所拠点区分支出予算合計	110,198

〔支所拠点区分〕

(単位：千円)

○共同募金助成金事業（支所）	895	○訪問介護事業	9,627
○在宅福祉事業（支所移送）	1,600	○小口資金貸付事業	501

(収入)

(支出)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
町 受 託 金 収 入	2,149	人 件 費	9,032
共 同 募 金 助 成 金 収 入	895	事 業 費	2,038
介 護 保 険 収 入	8,968	事 務 費	58
自 立 支 援 費 等 収 入	8	貸 付 事 業 支 出	500
受 取 利 息 配 当 金 収 入	2	共 同 募 金 助 成 金	895
雑 収 入	1	予 備 費	100
償 還 金 収 入	500		
前 期 末 支 払 資 金 残 高	100		
支所拠点区分収支予算合計	12,623	支所拠点区分支出予算合計	12,623

収入予算総合計

122,821

支出予算総合計

122,821

第27回高齢者ふれあい演芸会

「第27回高齢者ふれあい演芸会」は、2月17日（土）にふれあい交流会センターくまいし館で開催されました。

高齢者ふれあい演芸会実行委員会の松田会長の開会の後、来賓の岩村町長、能登谷町議会議長、笹田道議会議員から挨拶をいただきました。

そしてオープニングは、この春、熊石小学校に入学する相沼保育園児3名、熊石保育園児5名が保育園児として最後の踊りのステージを高齢者ふれあい演芸会でかわいらしく飾ってくれました、観覧されたみなさんも毎年、園児の踊りに癒されていると共に、保護者の方々や保育園の関係者の方々に大変感謝しております。本当にありがとうございました。



会費納入 全戸加入のお願い

当社協は、町民皆様のお力添えに支えられながら、地域福祉、在宅福祉そして介護保険事業所の運営を推し進めております。

社協の運営財源は、町民皆様から収めていただく会費、町補助金、受託事業の受託金、赤い羽根共同募金の助成金、そしてボランティアセンター（愛情銀行）によせられた寄付金（浄財）、介護報酬等により賅われています。

主な使い道は、職員の人件費、介護保険事業、毎年開催するふれあい広場事業（敬老会）、在宅福祉事業（移送サービス事業、給食宅配事業、緊急通報システム設置事業等）、会報（社協だより）発行事業、各種福祉団体、青少年団体への助成事業等に使われております。

お願いする会費は次のとおりです。

◎ 一般会費 五〇〇円

本年度もご理解賜りご協力下さるようお願いするとともに、全戸加入下さるようご協力をお願いします。

◎ 賛助会費 一口 三,〇〇〇円

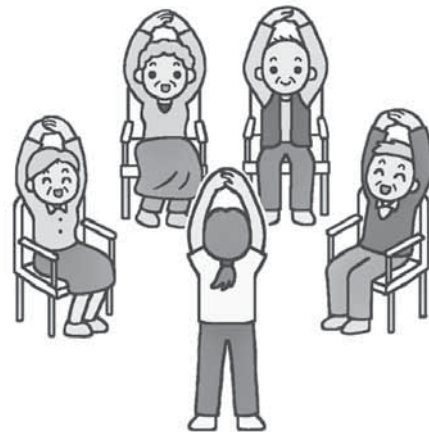
後日、社協役職員がお伺いいたしますので、社協の地域福祉事業にご理解いただき、一口以上のご配慮下さるようお願いいたします。

八雲町社会福祉協議会では
居宅介護支援と八雲デイサービスセンター（通所介護）
を気軽にご利用できるアドバイスの**出前説明会**を
行いますので、気軽にご相談ください。

介護保険サービス、介護保険内でのサービス、
介護認定の手続きなど年々制度が改正され、なか
なか分かりづらいことと思います。

利用者や家族の負担を少しでも軽減するための
制度であります。

居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマ
ネジャー）がご相談を受け、よりよいアドバイスをさせていただきます。



また、介護保険事業の一つでありますデイサービスセンター（通所介護）は、
当社会福祉協議会が経営しております。自宅で家族と生活しながら介護保険サー
ビスを利用して日常生活をより楽しく過ごすための通所介護であります。

詳しいことは、各町内会及び各老人クラブ、あるいはグループ単位でも結構で
すので、会合などの中で、説明する時間を設けていただければ、それに合わせて
出前説明会を行いますので、どうぞ気軽にご利用ご相談願います。



八雲町社会福祉協議会（八雲町栄町13番地1）シルバープラザ内
八雲町社協指定居宅介護支援事業所／八雲デイサービスセンター
電話（0137）64-2112 FAX（0137）63-2160

平成30年度ボランティアスクール開催!!

No.20

ボラ通

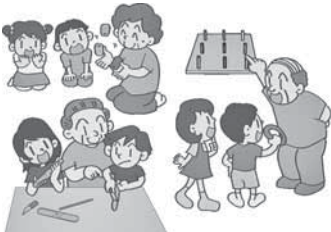
平成30年3月4日(日)シルバープラザにてボランティアスクールを開催いたしました。

ボランティアの意義を再確認するとともに、ネットワークづくりや知識・資質の向上を図ることを目的に開催しています。今回は、約40名の方が参加してくれました。

午前の講師に社会福祉法人函館緑花会特別養護老人ホーム美ヶ丘敬楽荘総務課長堀久志氏をお招きし、『地域包括ケアシステム構築への取り組み～ふれあい(地域食堂)の開設～』をテーマに講演していただきました。

小さな子どもからお年寄りまで世代関係なく集まれる居場所づくりのために一軒家を改築し、オープンするまでのお話をしていただきました。

ふれあい食堂いこいでは、週に3回ボランティアが食堂を提供し、他にも小さな子供のいるお母さんたちのサークルや地域の野菜販売などが行われているようで、参加者からは「八雲にも空き家たくさんあるしとてもためになった」などの声が上がっていました。



午後の講師には2部に分かれ、『野菜を使ったおやつ作り～捕食～』をテーマに八雲町役場保健福祉課健康推進係主査尾関あずさ氏をお招きし、かぼちゃの蒸しパンとにんじんとリンゴジュースのゼリー作りを体験させていただきました。主婦の方が多く皆さん手慣れた感じであっという間に完成。野菜の栄養を無駄なくおいしく捕食することができ、有意義に研修を行うことができました。



『介護用品等紹介・説明会』をテーマに株式会社テーオー総合サービステーオーケアサービス福祉用具専門相談員加賀良司氏をお招きし、最新の車いすや電動ベッド、杖と靴の説明をしていただきました。普段目にはしているものの、実際に触ったり使ったりして改めて使い方や最新情報を聞くことができ、良い講習となりました。



皆さんの温かい善意のご寄付
ありがとうございました

ボランティアセンター（愛情銀行）

平成29年12月16日～平成30年4月15日

（順不同・敬称略）

物資寄付

〇 匿名

雑巾48枚



社協活動メモ

十二月

- 八雲ライオンズクラブクリスマス家族会
- 障害福祉サービスクラス指導 渡島合同庁舎
- 介護保険施設集団指導 渡島合同庁舎
- 第三回八雲町総合開発委員会 渡島合同庁舎
- 仕事納め式（十二月二十九日）

一月

- 仕事初め式（一月五日）
- 第二回八雲町介護保険事業運営委員会
- 熊石中学生冬休み体験ボランティア
- 八雲ボランティア新年会
- 八雲町身体障害者福祉協会新年会
- 八雲民謡会新年会
- 第三四半期監事監査
- 第六回理事會
- 新二期地域福祉実践計画推進委員会

二月

- 平成二十九年管内社協会長・事務局長会議 七飯町
- 八雲町共同募金委員会第二回理事會

地域保健関係職員研修「糖尿病重症化予防研修会」

- 落部婦人ボランティア新年会
- 平成二十九年第二回渡島管内社協職員連絡協議会研修会 函館市
- 第二十七回熊石高齢者ふれあい演芸会

第三回北海道新幹線新八雲（仮称）駅周辺整備基本計画及び八雲町立地適正化計画策定検討会議

消費者被害防止講演会

- 熊石関内町内会安全安心ふれあいサロンの会
- 第三回正副会長会議

第四回八雲町介護保険事業運営委員会及び第二回八雲町地域包括支援センター運営協議会

三月

- ボランティアスクール
- 平成二十九年渡島地区ボランティア連絡協議会役員会並びに第二回渡島地区ボランティア推進会議 渡島合同庁舎
- 第七回理事會
- 第一回評議員選任・解任委員会
- 平成二十九年第三回管内社協会長・事務局長会議 渡島合同庁舎
- 生活支援体制整備事業と協議体に関する説明会 渡島合同庁舎
- 第二回評議員會
- 平成三十年介護報酬改定に係る説明會 渡島合同庁舎

八雲デイサービスセンター第二回運営推進会議

第四回八雲町総合開発委員会

退職辞令交付式

辞令交付式並びに年度初め式

熊石介護者と共に歩む会総会

八雲ボランティア総会

四月

社協職員の動き

この度、次のとおり異動がありましたのでお知らせいたします。

- *平成30年3月31日付退職者等
 - 八島 富美雄（管理係長）
 - 中山 好子（居宅介護支援係主任）
 - 加藤 晴一郎（デイサービスセンター係）

- *平成30年4月1日付昇任
 - 管理係長 田中 悟（管理係）

- *平成30年4月1日付採用
 - デイサービスセンター係主任 阿部 嘉恵 子
 - デイサービスセンター係 有藤 榎 下 勝 善
 - 管理係

- *平成30年4月1日付異動
 - 居宅介護支援係 武田 晴美（デイサービスセンター係）



～ よろしくお願い申し上げます ～

会報第四十九号 八雲町社協だより

平成三十年五月一日発行

二海郡八雲町栄町十三一

社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

TEL 01371641211
FAX 01371631216

赤い羽根共同募金の助成金は、八雲町社協だよりの発行にも役立てています。